


SCHOOL DATA

〒270-1609 印旛郡印旛村若萩3-9
 TEL.0476-98-2080 FAX.0476-98-2082
 ■児童数/544人 ■教職員数/31人 ■周辺環境/住宅

 (平成20年5月1日現在)



ビオトープの清掃



ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/約121㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/2000年
- 主な管理者/学校職員

<コンセプト>

本校は新興住宅街の中に設立され、学区のほとんどが人工的に整備された環境となっている。そのため、カエルや小魚、ミズカマキリ等の水生生物を見ることのできる場所がとて少ない。それらの水生生物を飼育・観察できる場として、本校のビオトープは造成されたが、水の循環ができないことや池の縁が垂直になっていることなどが影響し、多様な生物が生息できる環境ではなく、ただの観察池となっていた。今回の改修では、ポンプを備え付け、水が流れるようにしたり、池の縁を斜面状にしたりすることにより、多くの生物が生息できるような深さの環境をつくり、観察や飼育ができるようにした。

また、地域住民に改修事業に携ってもらうことにより、地域住民のビオトープに対する意識を高めたい。



生息している生物

植物:クヌギ、ツツジ、ドクダミ等
 動物:ドジョウ、メダカ、モツゴ、エンマコオロギ、アメンボ、ジョロウグモ、カナヘビ等

今後生息させたい生物

ニホンアマガエル、アゲハ、マコモ、ガマ、ウキウサ、ススキなど元来この地域に生息していた生物。



生き物研究



作業風景

ビオトープの活用方法

- 4年生の総合的な学習の授業で、観察を行ったり、ビオトープの清掃を行ったりして、環境に対する意識を高める。
- 1・2年の生活科の授業で各季節ごとに水生生物や昆虫などの観察を行う。
- 5年生の理科の学習で誕生させたメダカを放ち、継続して飼育や観察を行う。
- 自由参観の日にビオトープの観察会を開く。
- 学校便りや学校のホームページを通じて、定期的にビオトープの様子を保護者に伝え、環境保全に対する啓発活動を行う。
- 地域の社会教育団体(いには野クラブ)に開放し、観察会及び環境学習の学習会を開く。
- 地域の方を招き、ビオトープに生息する動植物を観察しながら、印旛村の昔の自然について話してもらう。

ビオトープの効果

■児童への効果

ビオトープ改修の計画を自分たちで立てる過程を通して、様々な生物の生態や生息する環境などについて、知識を増やすことができたり、様々な生物の生態や生息する環境について調べ、身近な自然に対する親しみの心や知識を持つことができた。また、季節ごとの生き物や自然環境の変化、生物多様性などについて理解を深めることができる。

水生生物が生息する環境を自らの手で維持・管理することにより、環境保全の大切さを感じる。

■教職員への効果

ビオトープがよりよく整備されたことにより、授業に活用したいと考える職員が増えた。

■保護者、地域住民への効果

地域を対象とした観察会を開き、気軽に水生生物を観察できる場所を提供することにより、進んで自然と親しもうとする住民が増える。

PTAや地域住民とともにビオトープを改修することにより、学校を拠点として、環境保全に取り組もうとする住民が増える。

保護者、地域との連携

- ビオトープの改修作業に参加してもらい、石運びや池の底の形を整える作業を児童とともに行ってもらった。
- 昔から地域に住んでいて地域の自然に詳しい方に印旛村の動植物の話をしてもらう。
- 地域に住んでいる方の協力を得て、元来この地域に生息していた動植物をわけてもらい、ビオトープの動植物を増やす。

整備・活用・管理等の課題

- 今まであまり学習に活用されていなかったため、今後どのようにビオトープを活用するか、各学年ごとに計画を立てる必要がある。
- 現在ビオトープに生息している動植物は種類も少なく、数も多くないので、昔から地域に住んでいて地域の自然に詳しい方の協力を得て、ビオトープに植える植物や生息する動物を増やし、ビオトープの充実を図る必要がある。
- 保護者の関心があまり高くないため、ビオトープを通じて保護者・地域住民と児童との交流学习を行う必要を感じる。

今後の展望

- 今後どのようにビオトープを活用するか、各学年ごとに計画を立てる。
- 昔から地域に住んでいて、地域の自然に詳しい方の協力を得て、ビオトープに植える植物や生息する動物を増やす。
- ビオトープを通じて地域住民と児童との交流学习を行う。

整備を担当した教員の感想

ビオトープの改修に参加した児童たちは、どの児童も目を輝かせ、やる気と希望をもって学習に参加していた。児童たちの働きのおかげで改修も順調に進んだ。指導者側としても児童のよい面をたくさん見ることができ、楽しさを感じる学習である。予想外だったのは、保護者等の協力である。PTAや自治会の役員の協力が思ったよりも得られず、予想していたより計画が進まなかった。今後は児童との交流学习を通して、ビオトープを拠点とした環境学習に関心を持ってほしいと思う。